

文芸作品 小学生

◆最優秀賞

尾道市立栗原小学校五年（広島県尾道市）

島谷 珠

認知症キッズサポーター養成講座を受けて

認知症サポーターの講習を受けて、私は、次の三つのことが印象に残っています。

一つ目は、認知症になると、「今日は何日？」「ここはどこ？」「あなたはだれ？」というように分からなくなることです。時間や月日が分からなくなると、くり返し、「今は何時？」など聞かないと不安になってしまうのです。

次に、場所が分からなくなると、買い物に出かけたとき、今から自分がどこにいくか分からなくなってしまいます。

最後に、人が分からなくなると、自分の身近な家族すら分からなくなってしまい、「あなたはどなたですか？」などと聞いたりします。

二つ目は、まわりの人のせいで、認知症が悪化してしまう可能性があります。例えば、失敗してしまったとき、周りの人が「また失敗か！いけない！ダメでしょ」とせめてばかりいると不安がいっぱいになり、症状が悪化してしまいます。

三つ目は、症状が悪化しないためには、「大丈夫だよ！」とか認知症の人がやったことを、分かってあげ、どんなときにも、やさしく接してあげることが大切です。

そうすることによって、認知症の人にも、安心するし、心もおだやかになります。そして、病気の改ぜんにもつながります。

この講習を受けて、私は、身近に認知症の人がいて、困っていたら、広い心で、やさしく接して助けます。もちろん認知症の人にかぎらず、助けてあげたいと思います。

